

# 竹取新聞

発行所  
株式会社 カグヤ



第150版

理念と実践で  
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一義」の理念のもとに活動しているカグヤクルーの日々の出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

カグヤグループも  
毎日元気に配信中！

カグヤウェブサイト



www.caguya.co.jp

「聴福庵」の情報はFacebookで  
f 神家総本家 聴福庵

## 美を繋ぐ

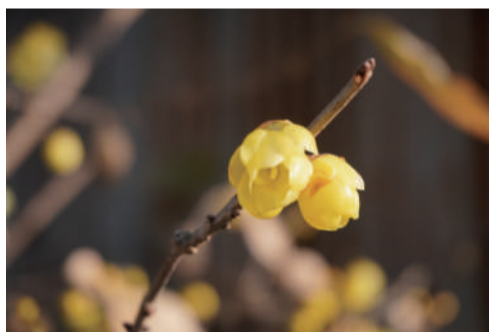
昨年を振り返ってみると、私自身の一番のニュースは東京から福岡の暮ぶき古民家「和楽(わら)」への移住でした。古民家甦生へのプロセスは山あり谷ありでしたが、昨年テーマに掲げた「結」のとおりに、新たな地でのご縁にも恵まれ助け合い支え合う関係が生まれ、沢山のおかげさまによって家自体は見事に甦生することができました。

ただ、本当の意味での家の甦生はそこで暮らしてこそ。実際に半年ほど暮らす中、夏は虫や野生動物の出現におびえたり、冬は厳しい寒さに震えたり、地域の常識の違いに戸惑ったりと想定外のことばかり。慣れるまで大変さが目につくものの、自然豊かな地での古民家暮らしは、頭ではなく五感がフル稼働した感動の毎日で、改めて感じたのは、それらの経験は何にも代えがたいということでした。

を発見し、暮らしに取り込んだり、手を入れ更に磨いたたりして、私たちが提唱している「暮らしフルネス」を今年も追求しながら、お客様は勿論、次世代の希望ある選択肢のひとつとなる場づくり、生き方ができたらと思っています。とはいえ、文化や生き方となると目に見えるものでもなく、すぐに結果も出ないため、正直昨年は自分自身も焦りや迷いが多くありました。でもそれは会社の仲間と共に長年掛けてユニークな企業文化を築いてこられたのと同じことと思うとどこか勇気が出ます。長い目でみて必要だと思っただけ、自分の初心を信じ、お客様や仲間と共に、子どもたちの未来へと繋がる美しい社会を築いていけたらと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。(宮前)

## 期待を胸に

昨年を振り返ると、コロナ禍で何か出来ないかとはじめた「ミマモリングソフト」セミナーの開催が私にとって大きな出来事でした。緊急事態宣言中、先生方は自宅にいる子どもたちに親子で作って楽しめるキットを送る等、「今、子どもたちに出来ること」をキーワードに行動される姿に尊敬の想いを抱いていました。同時に、私自身はこれまでの日常と異なり、働き方をどのように変えたいのか悩む日々でもありました。



寒い日が続いていますが、花々が咲き始めています。期待を胸に挑戦の1年にしたいと考えています！

他園に見学へ行きたくても、行くことが難しい先生方。内心、「ミマモリングソフト」を活用して頂いている園同士だったらオンラインで繋げる。園同士の実践や情報交換出来たらいいと思うけど、本当にできるのだろうか？ そもそも、参加する園はあるのだろうか？ と悩みつつも、「とにかく、やってみよう！」と開催を決めました。

改めて振り返ると、参加しただけだった先生方の実践やお声が次のセミナーの開催に繋がり、日頃先生方が大切に

されている子ども同士の関わりや選択制、参画などの要素をセミナーの中にも入れられないだろうか？ とワクワクしている自分がいました。正直、セミナーという言い方より、ブロックゾーン等のように一つの環境をオンライン上に試行錯誤しながら、先生方と創ってきた感覚の方が近いものがあります。

保育は面白く、保育の奥深さをいつも感じています。来年度は年間受講コースという新たな形が始まります。今年も園同士が繋がるような環境づくりに挑戦していきたいと考えています。(奥山)

## 聴くという智慧

昨年を振り返ると、人の少なさを理由にしないように「智慧」を絞る一年だったことを思います。人を増やすことができない中で、今の現状をどうしたら打破できるか。「今まで」の当たり前を改めて疑問視し、「今」の最適解を様々なお智慧をお借りして考え抜く日々。お客様で去年が大きな挑戦に何度も挑むことが出来、大きな変化を迎えた充実した一年を過ごすことができました。

その中でも、最も助けていただいた智慧は「聴く」ということです。自分達がいいたことをお客様に提案していく【PLAN DO SEE】



今年も月<ツギ>のある運の良い一年になりますように

の考え方ではなく、お客様がやりたいこと、困っていることを聴かせて頂き、それに対してカグヤの理念からどんな環境が用意できるかを考える【DO SEE PLAN】の考え方。「集団」として考えるのではなく、「一人ひとり」の声から学ぶ、見守る保育の要点を私たちも出来る限り大切にしていきたいと願う中で、「聴く」ということの中には、「ニーズ」に留まらず、こうしたら良いと思うよという「智慧の種」まで頂けるとが多々ありました。そんな「智慧の種」から生まれた「ミマモリングソフトセミナー」は今までのカグヤが舞台上に上がりお客様が観客という劇場ではなく、お客様同士が舞台上に上がり学び合う劇場としてリニューアルされました。今年はこの舞台の場づくりに磨きをかけ、異年齢児保育のよさに、そしてまた、かつての寺小屋のような主体的で豊かな学び合いの場づくりに近づいていけたらと思っております。本年もどうぞよろしくお願致します。(眞田)



「暮らしフルネス」の詳細はQRコードを読み取って頂くか、下記のURLからご覧頂けます！  
[https://www.caguya.co.jp/wp2/wp-content/uploads/2022/01/kurashi\\_fulness5.pdf](https://www.caguya.co.jp/wp2/wp-content/uploads/2022/01/kurashi_fulness5.pdf)

カグヤでは、それぞれが別々の場所においても、お互いの気持ちや様子をクルー同士はもちろん、皆様とも共有できるよう、毎日、ホームページでブログ配信しています。ここではその一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

## 謙虚に、慎重に



大人も子どもも健康で幸せな一年となりますように…。

思います。会社も自分も、大きく舵を切る一年にもなりました。

では、今年はどうな一年にしたいかと考えた時、年始に厄払いで訪れた神社の宮司さんからの「今年一年は謙虚に、慎重に」という言葉を思い出しました。

昨年は挑戦の連続で、その潮流の速さに目が回るような瞬間や、勢いのままに突進してきた部分もあったように思います。だからこそ今年、挑戦の中にも一歩を踏み出すときは慎重に、それは本当にお客様に喜んでもらえる対応なのか、仲間を幸せにできる行動なのかを一度立ち止まり考え、落ち着いて舵を切れるような心がかたいと思っています。

また、うまくいかないことも自分と向き合う機会ととらえて謙虚に進んでいきたいと思えます。本年もよりしくお願い致します。(眞田由莉)

## 未来に遺せる智慧を

### 日本の智と慧

昨年の暮、ここ彦根は記録的な積雪となりました。行政も頼れず、隣近所が総出で雪かきをしました。まだこういう風景が見られることに少しホッとしています。世の中は

次々と「自動化・システム化」されていきますが、その結果「人間の出席」が減り「思いやりや助け合い」といった「心の力」を発揮する機会が奪われています。また技術進歩により「便利なもの」がどんどん開発されていますが、この便利さは実は「手段」でしかなく、引き換えに大事

な「目的」を見失ってしまうことも多いようです。ある意味「効率が悪く」「からこそ」「忍耐力」が養われたり、「不便」だからこそ「じっくり向き合うこと」ができたりするのですが、最近はそのような人間の「徳力」を発揮する場も失われ、同時に「先人の智慧」も置き去られています。

「日本の智慧」は「楽をする」ためのものでありません。「人の本性を生かす」ためのものです。日々人が「進化」してこそ智慧と言えます。うっかり「便利さの罠」にはまって人間力を落とさないように、引き続き「未来に遺せる智慧」を探究したいと思えます。本年も宜しくお願い致します。(藤堂)

## 一期一会庵

### いのちを磨く

昨年は未来の子どもたちのためにと先人からの文化や智慧を伝承し繋ぐと暮らしや古民家甦生、様々なことを無事にカタチにすることができた一年でした。

久しぶりに出張もできなくなり、その御蔭もあって今までの既存の資本主義や経済発展中心という物差しを転換し、懐かしく新しい生き方を実践する暮らし、「暮らしフルネス」という自著を上梓することもできました。これも子ども主体の保育の現場と関わってきいているからこそで、皆さんのお力をお借りしながら挑戦をさせていただけに改めて深く感謝しています。

また、会社全体の取り組みもオンラインやリモートで園や保育現場に寄り添い見守る仕組みを充実させることができました。場所が離れていても、直接お会いできなくても同じ理念や志があれば創意と工夫で今までの以上に深い学びや関わりを持つてることを実感しました。

子どもたちも将来、似たような機会を体験するかもしれない。その時の実践事例やお手本になれるようにこれからもさらに挑戦を続けていきたいと思えます。

さて、私事ですが昨年の私のテーマは「感謝を磨く」でした。この一年でどれだけ感謝が磨けたかはわかりませんが、当たり前であることの存在や奇跡に気づいて改めて足るを知る機会は今までよりもずっと多かったように思います。

今年のテーマは、「いのちを磨く」ということにしています。

自分らしく自分のままで尊重し合える社会を先祖たちは願っていたのではないかと、最近思うことが増えてきました。特にこれからアフターコロナに入るとき、私たち人類の意識は一つ変わっていく必要があるように感じています。何がもっとも真の豊かさなのか、そして何が千年先の子孫たちのためになるのかということ。気候変動が進み、環境の変化が著しく、世界情勢も暗雲が出てきています。課題が山積みですが、誰かが変えてくれることをただ待っている状況でもなくなってきたと思います。一人ひとりの変化、すべての自分の責任として課題に取り組みみみなでこの困難を乗り越える勇気と協働が必要です。

かつて私たちの先祖たちは、子孫のために徳を積みました。これは地球の生命と共に一緒に永続的に暮らしを豊かにしていくという道を敢えて選んでいたともいえます。もう少し謙虚になって、智慧を発揮し「バランスを保つ工夫」をしなければこの歪は大きな揺れ戻しになって人類に襲い掛かってくるようにも思えます。そのためには、何がいのちにとってもっとも相応しいのかをみんなが学び直していくことだと私は感じています。いのちを磨くためにも思想だけでもなく、技術だけでもなく、「智慧」をカタチにしていく一年にしたいと思えます。

子どもたちの千年後の未来のために今年も一緒に希望を増やしていきたいでしょう！ よろしくお願ひします。

(野見山)

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます



ライトハウス(灯台)  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17  
東京堂神保町第3ビルディング8階  
tel.050-1744-8823  
fax.03-3518-6218

カグヤウェブセンター  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17  
東京堂神保町第3ビルディング8階  
tel.03-3518-6217  
fax.03-3518-6218

働き方と暮らし方の一致  
暮らしフルネスについて



ファックス番号が変わりました